

グローバルなビジネス経験を社会貢献に生かすABIC 設立20周年に向けて

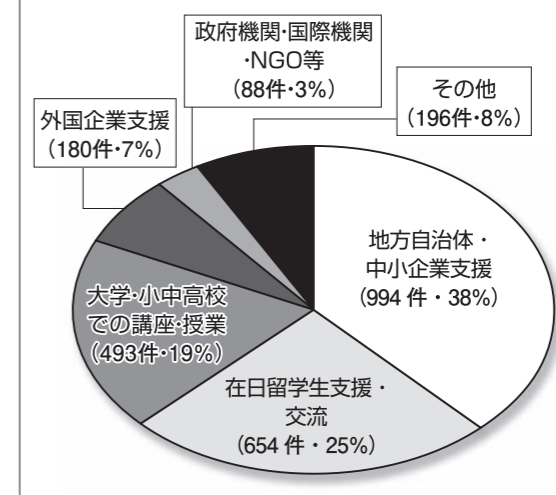
登録活動会員は3000人に近づく

2000年4月に日本貿易会が立ち上げたABIC(特定非営利活動法人国際社会貢献センター、英文: Action for a Better International Community)は、企業OB・OGが中心となる会員の国内外での豊富な経験、業界知識、国際感覚、ネットワーク、事業ノウハウ、交渉力、語学力などのスキルをフルに活用して、分野や地域を限定しない社会貢献活動を行ってきました。

登録活動会員数は18年

度末で2912人(商社出身者が69%を占め、その他はメーカーや金融機関等多彩です)、その85%が海外駐在経験を有し、駐在国数は150カ国・地域に達し、また46%が3カ国語以上を話し、全体で35言語をカバーしています。主な活動分野は、「地方自治体・中小企業支援」が全体の38%、「在日留学生支援・交流」が25%、「大学や小中学校での講座・授業」が19%です(数字は18年度実績)。ここ数年でも毎年450

ABIC活動分野 (2018年度実績: 全 2605件)



社会からの要請と会員の熱い志に支えられて

地方活性化への取り組みが各地で高まる中で、生産管理・品質管理など営業面以外も含めた地域産業振興、産品輸出促進、国内外法務対応、インバウンド(訪日外国人)やDMO(観光地経営組織)への対応など、自治体・中小企業からの人的な支援要請は絶えませんが、ABICでは現在8つの地方自治体と年間業務委託契約を結び、中小企業の海外展開、首都圏での販路開拓、まちおこしの施策立案等において、ABIC活動会員によるきめ細かい支援が行われています。

在日留学生支援の面では、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が保有する東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に居住する世界各地からの優秀な留学生及び

設立20周年(2020年4月)を前にして

NPO活動は、国際交流の促進、社会教育の推進、保健や福祉の増進等々、広汎な分野でその存在意義が認められており、社会の重要な担い手としての役割はますます大きく不可欠になっています。日本貿易会はその社会貢献活動をABICに委託し、活用・発展させてきました。社会からの要請と商社業界をはじめとする企業OB・OG会員の志とのマッチングを推進するプラットフォームとしてABICを設立して近20年になります。今や人生100年時代、多様な働き方を含め70歳までの就業機会の確保など、超長寿社会における経済社会システムの構築に向けた議論が進む中、ますます高まる社会からの要請に応えられるよう、ABICの機能をさらに強化させていくと共に、同様のプラットフォームを有する諸団体との連携を強めて、活動の輪を広げたいと思います。

社会からの要請に加えて、小・中・高校での国際理解教育(最近では、オリパラ教育の一環でなじみの少ない国々を紹介する授業として)、外国籍児童や帰国子女への日本語指導などの場で国際経験豊かなABIC会員が活躍しています。

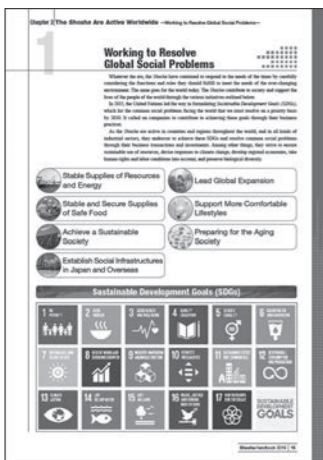
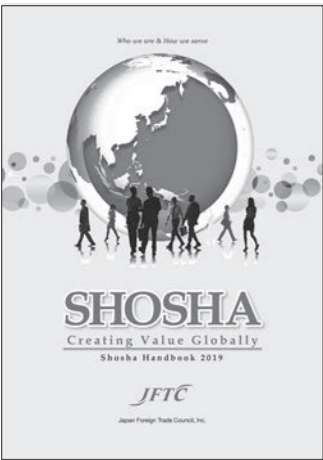
この他に政府機関や外国企業も含めて、広く社

会からの要請に添えて多様な貢献活動を展開するABICですが、その活動を支えるのは会員の熱い志です。自らの経験、知見、ネットワークを社会のために生かしたい、社会との接点を持ち続けたい、この思いがNPO法人としての原動力です。

商社ビジネスの今が分かる

商社くグローバルな価値創造に向けて(商社ハンドブック2019)

商社の役割や提供するサービスが時代の変遷とともに変化してきたことから、一般的に「商社とは何者か」ということが分かりにくいといわれています。日本貿易会では、商社の活動内容をできるだけ多くの方にご理解いただくためのハンドブックを作成致しました。



広告

日本語版/英語版ともに
本体価格 500 円 (税別)
政府刊行物サービスセンター、
大型書店、amazon.co.jp でお求めください。